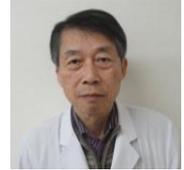


しおかぜだより



～2016年 新年のご挨拶～

介護老人保健施設 やわらぎ 施設長 鶴原 一郎

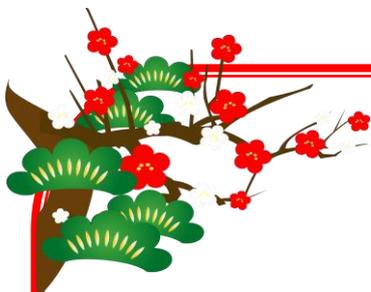


日頃からやわらぎのためにご尽力頂いています地域の皆様並びにご家族の皆様、新年おめでとうございます。昨年中は多大なご支援とご協力を頂きましたことに対しこの紙面をもちまして厚く御礼を申しあげます。今年の干支は申（さる）、本当の読みは（しん）と読むそうです。伸ばすという意味があり、[草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟して香と味が備わり固く殻に覆われていく時期]を表しています。そもそも十二支は農作物の成長の過程を12段階で表した農業カレンダー的意味を持っていました。ではなぜ[猿]ともいうのか？有力な説としては干支の意味を広く庶民にも理解してもらうため、昔は漢字の読めなかった人も多かったので解り易く覚えてもらうため、動物の「猿」を割りあてたといわれています。

さて皆様「地域包括ケアシステム」という用語ご存知でしょうか。おそらく大半の方はよくわからないと思います。実は厚労省が2025年（平成37年）、いまから10年後を目途に高齢者の「尊厳の保持」と「自立生活の支援」の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう、地域の包括的な支援とサービス提供体制の構築を目指し推進している事業です。今後の高齢社会をどのように支えて維持していくのかという点において本目的は大変重厚で崇高な目的と言えます。具体的には各市町村の自治体が中心に地域包括センター、ケアマネ、老人介護施設、病院、医師会、自治会等による地域ケア会議のもとに、高齢者の医療、介護、予防、生活支援、住まいの5項目の支援を自助、互助、共助、公助の体制を構築して達成していくシステムです。ただ都市部で見られる、隣人の存在すら分からない世の中、またボランティア精神の教育が不十分な日本人社会、社会保障費の不安定な財源基盤、地域ケア会議での市町村を始めとする価値観差等、多くの課題をもった船出中です。目的とする港に無事たどり着けるように他力本願ではなく皆でこのシステムに関心を持ち勉強しましょう。高齢者問題に造詣の深い慶応大学の田中滋教授は、このような高い総合ケア体制を目指すためには、重要な哲学があり、それは本人、家族に「一人で死ぬ覚悟」がないと達成できないと強調されています。解り易くいうと「最後は救急搬送され、病院で看取られる」と考えるのではなく「一人静かに自宅で息を引き取ることも又幸せな死に方だ」と覚悟できるかどうかにかケアシステムの成否がかかっていると提言されています。今年72歳（申年）になる私自身に突き付けられた意味深い提言であり、あえて記載させていただきました。

2016年も私たち職員一同は、ご利用者の皆様一人一人の[尊厳]を支える医療介護に専念致してまいりますので引き続き宜しくお願い致します。2016年度が皆様にとって幸多き年であることを祈念いたしまして新年の挨拶にかえさせていただきます。





～師長あいさつ～

介護老人保健施設やわらぎ 看護師長 宅野 安子



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は皆様方に沢山の御厚情を賜りまして、新しい年を迎えることが出来ましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

毎年年末に、一年を振り返り漢字一文字で表す行事が行われています。昨年は「安」という文字が選ばれました。私事ですが、名前の一文字と言うこともあり、とても親しみを感じました。「安全保障」を考えた一年で、安全・安心な生活を送ることができるようにという意味でこの字が選ばれたようです。

やわらぎにおきましても、常に御利用者様には安全・安心を心がけ、日々看護、介護を提供しており通じるものがあります。

今年もその心を忘れず、御利用者様へ接して参りたいと思います。又、今年は「申年」です。「猿」はとても活気があり、元気の良いイメージです。それにあやかり職員皆元気良く、そして御利用者様が笑顔となり、職員も笑顔の一年になればと考えます。

今年も引き続き、やわらぎをどうぞ宜しくお願い申し上げます。

～事務長あいさつ～

介護老人保健施設やわらぎ 事務長 大原 務



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまでやわらぎは今年5月で22年目を迎えます。

これも一重にお支え頂いた皆様と地域の方々の暖かいご支援の賜物と深く感謝いたしております。

この場をお借りまして、改めて御礼申し上げますと共に今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

厳しい環境が続く中ではありますが、今年もご利用者様に喜んで頂く為に「信頼」「感謝」「感動」に磨きをかけ、一層のサービス向上に努めてまいります。

超高齢化時代に向けた「地域包括ケアシステム」実現の為に、医療と介護が連携し、ご利用者様が住みなれた地域で安心して住み続けられるよう、そして、一人でも多くのご利用者様が安心して快適に介護サービスを受けて頂ける施設を目指してまいります。

本年も変わらぬお引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

この新しい年が皆様にとってより良き年になりますよう心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願ひいたします。





～新年会～



1月23日（土）、やわらぎ新年会を122名の参加のもとで開催しました。

今年のゲストには、地域の施設、学校、公民館等でご活躍のスマイルせつこ様とマジカル近藤様をお招きし、腹話術と手品をそれぞれ披露して頂きました。腹話術では可愛らしいお人形の「けんちゃん」が本当にお喋りをしているような仕草に、会場からは「かわいい」とつぶやきも聞こえていました。そして腹話術のお人形と一緒に「雪やこんこん」や「ちょうちょ」の歌を歌うという、おもしろい体験もさせて頂きました。

マジカル近藤様の手品では、3つの輪がつながったり離れたり、筒からピンやコップが出てきたりと、色々な手品を披露して下さいました。皆さん真剣な表情で見つめておられ、どんなタネが隠れているのか考えておられるようでした。



やわらぎ職員も余興を披露。新人職員3名が緊張しながらも、あのピンクレディの衣装をまとい「UFO」など、曲に合わせて踊りを披露致しました。

会のしめくくりは東京都のお住まいの90代の女性が作られた短歌をもとに、その知人がアレンジされた「年をとるってどんなこと」という歌を全員で合唱しました。この歌は童謡「うさぎとかめ」の曲に合わせて歌ったのですが、詞の一節を紹介したいと思います。

「♪年をとるってどんなこと 忘れっぽいというけれど いっぱいつまった知恵の箱
出すのにちょっと迷うだけ♪」

年齢を重ねる毎に出てくる色々な体の症状を前向きに捉える素敵な歌詞に、会場も和やかな雰囲気になりました。

閉会の後は昼食会を行いました。美味しそうなお弁当に、「食べきれんわ～」と嬉しい悲鳴を上げる方、久しぶりのご家族一緒でのお食事に楽しそうな方と、普段とはまた違った表情でお食事を楽しまれておられました。



～職員情報～



今年度の資格取得者を紹介致します。

篠原 弘美（ケアマネジャー）	主任介護支援専門員研修修了
判田 浩基（デイケア相談員）	認知症ケア専門士認定試験合格
鬼木 徳子（作業療法士）	生活行為向上マネジメント指導者認定

《篠原さんより》

御利用者様一人一人の今に向き合い、その人だけの“マイプラン”を深めていける様なケアマネジメントを提供できる様、励みたいと思っています。

《判田さんより》

皆さんの在宅での生活に関わらせていただきながら、認知症の方やそのご家族が地域で安心して過ごせるよう、少しでもお役に立てたらと思っています。

《鬼木さんより》

御利用者様が自分のしたい生活行為を行えることで、健康を維持増進できるよう関われる作業療法士になっていきたいと思っております！！



～サービスプランだより～



高齢化が進み、高齢者のニーズの増大、一人暮らし高齢者の増加、認知症高齢者の増加などが見られる中、住み慣れた地域で安心して尊厳ある生活を継続できるように、国では、地域包括ケアシステムの構築が進められています。

地域包括システムとは、団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025）年を目途に、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしを続けることができるよう、高齢者の住まいを拠点に、介護だけでなく、医療や介護予防、生活支援がおおむね30分でかけつけられる日常生活圏域で提供される仕組みです。

在宅医療・介護の連携には、急性期、回復期を担う医療機関、地域におけるかかりつけ医や、介護サービス事業所、ケアマネジャー、住民ボランティアなどの連携による対応が必要になります。

居宅介護支援事業所サービスプランやわらぎは、地域に根ざした事業所として、また「その人らしい自立した生活」を実現していくために多種多様なサービスを組み合わせて、個別性のあるケアプランを作成し地域で暮らせる医療と介護の環境づくりをしていきます。

この他にも介護について気になる事や、不明な点がございましたらサービスプランやわらぎまでお気軽にお問い合わせください。 連絡先 電話（0859）31-1002

～ヘルパーステーションだより～

2016年の干支は『申年』ですね。そこで申年にちなんだ話題を少し紹介します。

申年の『赤いパンツ』『赤い肌着』は縁起がいい

昔よりの言い伝えがあります。ではなぜそうなるのでしょうか？

それは申年の『サル』にかけて『病が去る（サル）』など語呂がよいこと。

『赤は病気を防ぐ厄除け』の言い伝えがあることによるそうです。

申年生まれの性格

- ・頭の回転が早く何でも器用にこなす
- ・やる気旺盛、行動的
- ・持久力がない
- ・金運あり

大まかに表現するとこのようになっています。

申年生まれの皆さん！当てはまっていたでしょうか？



ちなみに申年生まれで、歴史上もっともこの特徴を持ち合わせているといわれた人物が、あの戦国武将『豊臣秀吉』だという説があるそうです。それは織田信長の下で『サル』と言われながら馬飼ひ、草履取りから出世し大名となり、後に天下統一をはたしました。信長の家臣時代、美濃侵攻にあたって墨俣に一夜にして城を築いた『一夜城』の話は、申年生まれの頭の回転の良さと行動力からなるものではないでしょうか。

医療法人同愛会

はあとふる・ねっとわーく

●介護老人保健施設やわらぎ

TEL (0859) 31-1000

FAX (0859) 31-1003

●デイケアやわらぎ

TEL (0859) 31-0150

●ヘルパーステーションやわらぎ

TEL (0859) 31-1025

●サービスプランやわらぎ

TEL (0859) 31-1002

1日おためし体験についてのお知らせ

デイケアやわらぎでは毎週月曜日から金曜日（祝祭日除く）の9:30～15:30迄の時間でおためし体験を受け付けております。

対象者：要支援・要介護認定を受けられた方

内容：健康チェック・レクリエーション
グループ活動（体操・脳活性・工作）

【見学】入浴・個別リハビリ。施設内案内

費用：昼食（おやつ代込み）600円

ご家族同伴・送迎（車椅子でも可）も承っておりますので気軽にお申し込みください。

問い合わせ（担当：判田）

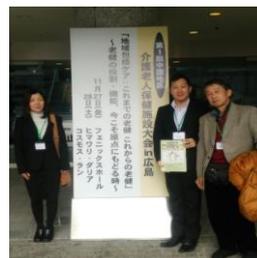
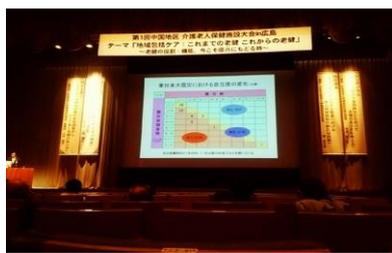
～中国地区老健大会に参加しました～

平成27年11月27日(金)、28日(土)に、広島県の広島国際会議場で第1回中国地区介護老人保健施設大会が開催され、やわらぎからは鶴原、久保木、長谷、間瀬、米山の5名の職員が参加しました。

当施設からは2題発表させて頂き、リハビリテーション部からは『「安全かつ入所者が力を発揮できる環境」をめざして』をテーマに利用者様の安全な環境について、入所部からは『チームケアと居室担当制へ～利用者様と深い関わりを目指して～』をテーマに利用者様へのケア体制についての取り組み内容を発表しました。

また、教育講演や他施設の様々な演題発表を聞くことが出来、同じ介護老人保健施設で勤務している仲間として共感することも多く、新しい発見や、当施設にも繋がる課題も知ることができました。

このような経験を活かし、今後も利用者様に安心、満足していただけるサービスを提供出来るよう取り組み、職員一同努力してまいります。



今後の行事予定

- | | |
|-------|-------------|
| 2月 3日 | 節分行事 (豆まき) |
| 2月12日 | バレンタイン喫茶 |
| 2月16日 | 手作りおやつ (通所) |
| 3月 4日 | 和風喫茶 |
| 3月28日 | 手作りおやつ (通所) |

編集後記

今年は雪も無く暖かいお正月を迎えましたが、西日本に数十年ぶりの大寒波が到来し、1月後半は大変寒い日が続きました。立春を過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ寒い日が続きますのでお身体には気をつけ、2016年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう心から願っております。

しおかぜだより 36号 (2015年 冬号)

2016.2月発行

特定医療法人財団同愛会

介護老人保健施設やわらぎ

683-0801 鳥取県米子市新開4-11-13

TEL (0859)31-1000

FAX (0859)31-1003

HP <http://www.douaikai.net/>

E-mail yawaragi@douaikai.net

以下のQRコードから携帯でもご覧頂けます。



【初回発行日】1996年8月